

一般社団法人草薙カルテッド×県立大学との包括連携協定

【これまで】

個人・ゼミとして参画 ⇒ 個人的・散発的

日程	内容	本学関係者
2015年1月	「草薙駅周辺まちづくりビジョン」策定	学長（委員）
2018年3月	「草薙駅北ログランドデザイン」策定	経情 岸昭雄教授
2019年3月	「草薙駅南ログランドデザイン」策定	経情 岸昭雄教授
本学関係者	活動内容	
COCセンター	静岡市企画局と連携し、市内の企業・団体のSDGsの取組みを学生が取材し発信する「SDGs学生レポーター事業」を実施。この事業を、本学コミュニティフェローの実技要件に認定。	
経営情報学部 国保研究室	公益財団法人日本生産性本部と国保研究室との研究に協力し、地方創生を学生に広げる活動としてワークショップや交流会を実施。延べ100名近い参加あり。	
経営情報学部 国保研究室	3年生が、前期に企業の課題を解決するPBLという手法を取り入れており、NPO法人ESUNEのほか、草薙カルテッドもESUNEと連携し、トヨタユニテッド静岡とのコーディネートを支援。	

【これから】

「事業」を協創×学生活動支援×研究 ⇒ 組織的コミットメント

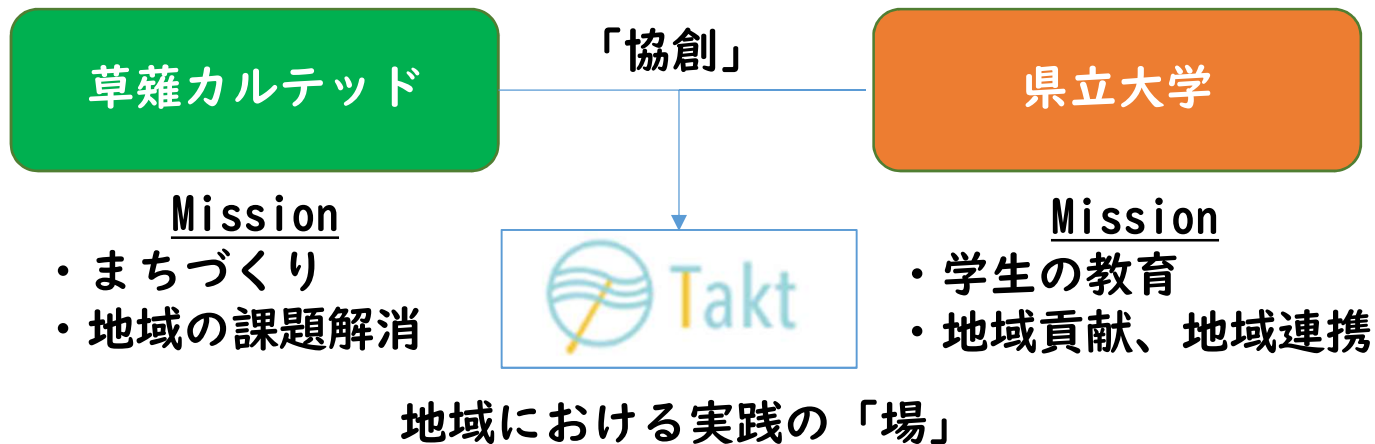
（連携及び協力の内容）

（一社）草薙カルテッドと静岡県立大学とが包括的な連携のもと、それぞれが持つ資源や機能等の活用を図りながら、相互に協力して有度・草薙地域のまちづくりを推進することを目的とし、相互に連携、協力し以下の内容を推進する。

- (1) 地域のまちづくりに関する研究や人材育成に関すること。
- (2) 地域の文化や伝統を継承する事業に関すること。
- (3) （一社）カルテッドまたは県立大学が催す事業に関すること。
- (4) 自治体や公共団体等と連携した事業に関すること。
- (5) その他、お互いが必要と認める事業に関すること。

一般社団法人草薙カルテッド×県立大学との包括連携協定

「事業」を協創 × 学生生活動支援 × 研究



カルテッド
の課題

「担い手・知恵袋」

地域の大学

透明性

- ・ 地域が抱える課題
人口減少・高齢化

組織性

- ・ 将来の担い手
継承・少子化

事業性

- ・ “稼ぐ” まちづくり
自走する仕組み



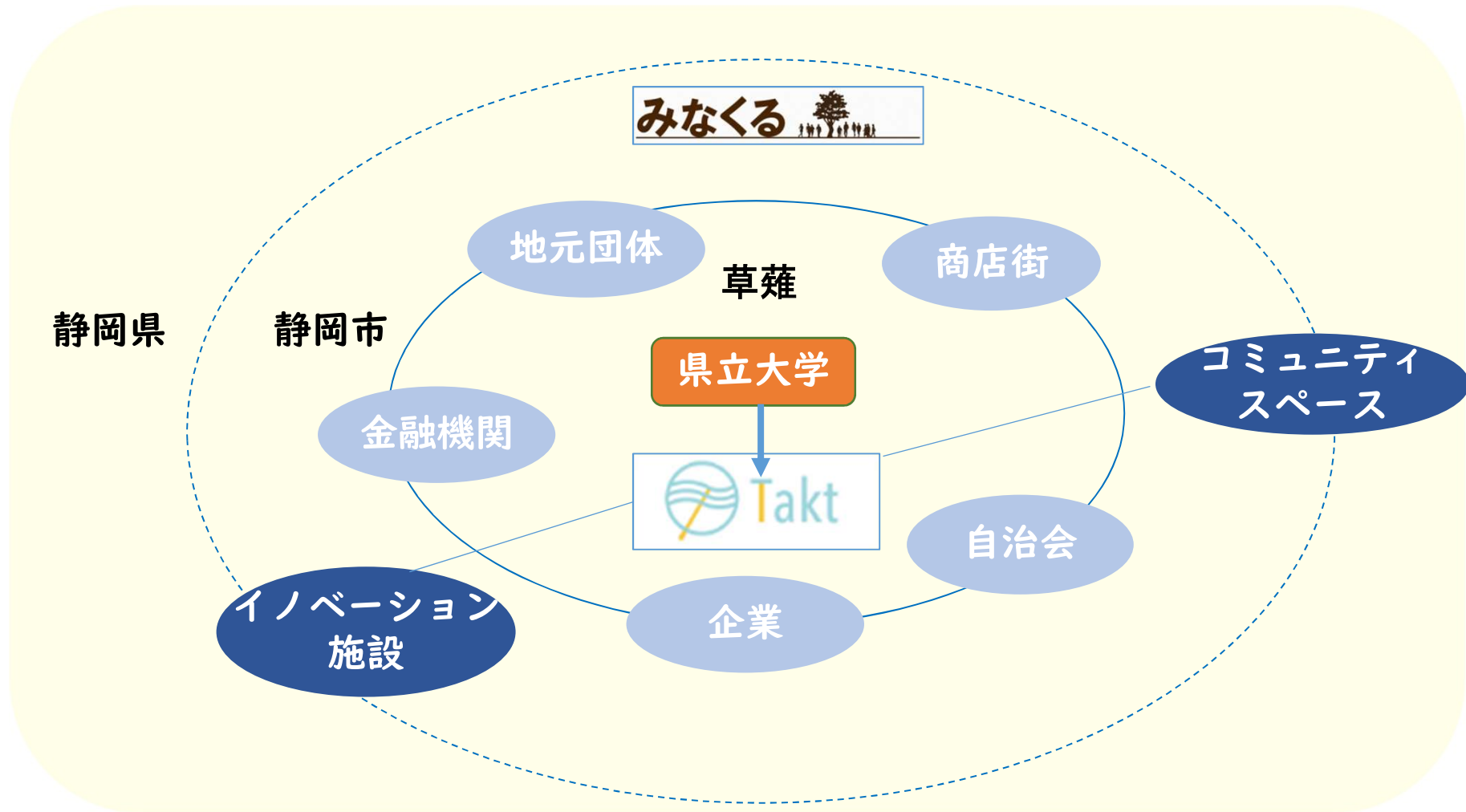
「第3のキャンパス」

草薙・小鹿に次ぐ

- ・ 地域課題の共同研究
多様な主体（社会人・高大）
- ・ 自律した課外活動支援
大学の外に出て学べ！
- ・ ビジネスプラン作成
アントレプレナーシップ

連携プレイヤー想定

連携によって何を生むか、何が生まれるか



県大生が地域を超えて協創につながっていくこと

今後の取り組み

令和5年度実施企画（予定）

草薙カルテッド



県立大学

- ・ 包括連携協定締結の周知イベント（調整中）
県大：学内学生・教職員
草薙カルテッド：地域住民
リーフレット配布＋呈茶@草薙駅前
- ・ 清水区における健康講座の開催
～生涯活躍のまち静岡（CCRC）推進事業～
県大 × 静岡市 × 草薙カルテッド
- ・ 草薙まちづくりサロンを活用した意見交換会
地域住民 × 県大学生・教職員